

稲東だより

稲沢東高等学校生徒会
平成 23 年度第 1 号
平成 23 年 5 月

東日本大震災義援金活動を行いました。

4月17日 いなざわ植木まつりにて

国府宮で行われていた「いなざわ植木まつり」で東日本大震災義援金募集活動をしてきました。本校生徒会執行部を中心に7名の生徒が参加してくれました。当日、レスリングの吉田沙保里選手と栄監督が来場しました。生徒たちは吉田選手とともに元気よく大きな声で義援金を呼びかけていました。生徒たちの力は大きなものではありませんが、小さな力でも被災地の方に届いてくれたらいいと思います。



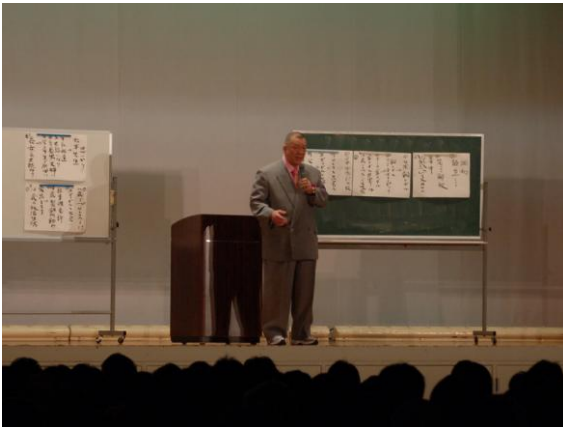
5月10日～12日 校門前にて

登校時に校門にて本校生徒を対象に義援金を呼びかけました。東日本大震災で被災された人たちのために何かできないかを考えた結果、義援金を集めることになりました。雨が降りそうな天候の中、生徒会執行部のメンバーは一斉懸命呼びかけをしてくれました。その熱意に生徒たちも快く義援金呼びかけに応えてくれました。



アニマル浜口来る！

5月12日、PTA総会の後の講演会にレスリングの浜口京子選手の父アニマル浜口さんが講師として来校されました。「不可能を可能にする親子の絆」を題に浜口さんの幼少期の苦労したことから始まり、京子さんと二人三脚で歩んだオリンピックへの道に至る話を講演していただきました。浜口さん親子の絆の深さを垣間見る事の出来る心温まる講演でした。最後に本校生徒と一緒に「気合いだぁ〜」10連発をしていただき、生徒たちもとても楽しいひと時を送ることができました。



部活動大会結果

硬式テニス部 愛知県高等学校総合体育大会尾張支部予選会

男子ダブルス 4ブロック準優勝

黒石雅人(大里中出身)・加藤翔平(稲沢中出身)組

バスケ魂！

男子バスケットボール部主将 鈴木 乙斗 (甚目寺南中出身)

学校生活の中で一番力を入れてきたことは部活動でした。

一年生の時は部員が6人しかいませんでした。一人ひとりがしっかりと部活動に打ち込み、とても充実していました。夏休みに、2万本のシュートを記録しながら打つ練習はとても厳しかったです。厳しかった分、達成した時の感動はとても大きく今でも覚えています。

二年生になり、キャプテンを任せられました。一年生が多く入ってきたので練習に活気が出てきました。キャプテンとして部員をまとめていくことはとても大変でした。毎日うまくいかない事ばかりでいらいら、いやになることも山ほどありました。それを支えてくれた二年生、いつもしっかりとついてきてくれた一年生、みんながいたから落ち込んだ時もまだ頑張れるという気持ちを持つことができました。

三年生になり、もうすぐ高校でのバスケットボールが終わってしまうと考えると、「勝ちたい!」という気持ちが空回りし、気合いが入らずにいました。そんなときでも、練習後一緒に残ってアドバイスをしてくれる後輩がいたから落ち着きを取り戻すことができました。

キャプテンとして自分のやってきたことは自分一人では決してできないことだと思います。いつも支えてくれた仲間がいたからこそできたのだと思います。だからみんなにとっても感謝しています。最後の大会は勝つことができなかったし、完全燃焼したとは言えません。けれども、みんなとプレーができてとても満足しています。

一つだけ悔いがあります。いつも試合に足を運んでくれた親や兄弟に勝つ姿を見せられなかったことです。だからこれからもバスケットボールを続けていき、次は勝つところを見せたいです。

「もう、負けません」

